

安全データシート (SDS)

作成 2017年8月21日
最終改訂 2025年6月30日

1.【化学物質等及び会社情報】

製品

製品の名称 アルタンNAハンドソープ

供給者情報

会社名 アルタン株式会社
住所 東京都大田区東糞谷3-11-10
担当部門 商品部
電話番号 03-3743-5705
FAX番号 03-3743-5706
緊急連絡先 同上

2.【危険有害性の要約】

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	区分2B
生殖毒性	区分1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(肝臓) 区分2(中枢神経)

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、
上記以外の項目は、現時点で「分類できない」又は「区分に該当しない」である。

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経の障害のおそれ

注意書き 【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
保護眼鏡等の保護具を着用すること。

【救急処置】

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分の悪い状態が続く場合には医師の診察を受けて下さい。
目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外して洗浄

を続けること。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当を受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物／容器は関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。

3.【組成・成分情報】

単一製品・混合物の区別 混合物
 成分及び含有量

化学名	含有量(wt%)	CAS No.	化審法番号	労働安全衛生法	PRTR法
水	非公開	—	—	通知対象外物質	非該当
グリセリン	非公開	56-81-5	(2)-242	通知対象外物質	非該当
エタノール	2.77	64-17-5	(2)-202	通知対象物質	非該当
オレフィン(C14-16)スルホン酸Na	1.11	11066-21-0	(2)-2807	通知対象外物質	該当
ラウリル硫酸アンモニウム	非公開	2235-54-3	—	通知対象外物質	非該当
カキタンニン	0.15	—	—	通知対象外物質	非該当
カプリン酸グリセリル	非公開	26402-22-2	(2)-669	通知対象外物質	非該当
クエン酸	非公開	77-92-9	(2)-1318	通知対象外物質	非該当
クエン酸Na	非公開	68-04-2	(2)-1323	通知対象外物質	非該当
亜硫酸Na	非公開	7757-83-7	(1)-502	通知対象外物質	非該当
シメン-5-オール	0.10	3228-02-2	(3)-521	通知対象外物質	非該当*
香料	非公開	—	—	通知対象外物質	非該当

*…含有量が1.0%未満のため同法に該当しない。

4.【応急処置】

目に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して
 いて容易に外せる場合には外して洗浄を続けること。その後も洗
 浄を続けること。
 吸入した場合 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当を受けること。
 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分の悪い状態が続く場合には医師の診察を受けて下さい。
 飲み込んだ場合 無理に吐かせないで、口の中を水ですすぐだけにすること。
 直ちに医師の診察を受けること。

5.【火災時の措置】

消火剤 基本的には引火しない。周辺火災の場合には全ての消火剤が
 使用可能。
 使ってはならない消火剤 無し
 消火方法 周辺火災の場合、可能であれば容器を安全な場所に移す。
 容器を移動できない場合には、延焼のおそれのないように、
 水スプレーで周囲のタンク、建物等の冷却を行う。
 消火作業は風上から行い、必要に応じて適切な保護具を着用
 する。

6.【漏出時の措置】

人体に対する注意事項 直ちに適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち
 入りを禁止する。作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚へ
 の接触やガスの吸入を避ける。
 環境に対する注意事項 土砂、土のう等で周囲への拡散を防止する。漏出物を直接河川
 や下水に流してはいけない。
 回収、中和 少量の場合は乾燥土、砂等で吸収し、密閉できる空容器に回収
 する。多量の場合は盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に

導いて回収する。回収したものは、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

7.【取り扱い及び保管上の注意】

取り扱い

技術的対策 水を50%以上含有しているため、引火はしにくい。
吸入の恐れがある場合には適切な保護具を着用すること。
粘膜又は衣類に触れたり、目に入らないようにする。

局所排気・全体排気

揮発性が低いので排気の必要性は低いが、排気する場合には防爆タイプの局所排気装置を用いる。

安全取り扱い注意事項

容器は手荒な扱いをせず、内容物の漏洩を防止する。

保管

保管条件 容器は密閉して、保管すること。
直射日光の当たらない、常温常湿下で保管すること。

容器包装材料 樹脂製容器(ポリ容器等)

8.【暴露防止及び保護措置】

管理濃度	エタノール100%の場合		設定なし
許容濃度	エタノール100%の場合	ACGIH	STEL 1,000ppm(2009年版)
設備対策	防爆の設備・換気・照明機器を使用すること。		
保護具・呼吸器の保護	有機ガス用防毒マスク、送気マスク		
目の保護	保護眼鏡、ゴーグル		
皮膚・身体の保護	長靴、前掛け、耐溶剤製手袋		

9.【物理的及び化学的性質】

状態	液体
色調	白色～淡黄色半透明
臭気	ミント香気
比重	1.010～1.040(15℃)
pH	4.0～5.0(25℃)
その他	溶解性: 水に任意の割合で混合

10.【安定性及び反応性】

安定性 通常の実用条件では安定である。
危険有害反応可能性 水を50%以上含有しているため燃えにくい。
避けるべき条件 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源。
混触危険物質 熱、火花、裸火、高温のもの

11.【有害性情報】 エタノール100%の場合

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	眼刺激	区分2B
生殖毒性	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ	区分1A
特定標的臓器・全身毒性	気道刺激性	区分3
	麻酔作用	区分3
	長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害	区分1
	長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ	区分2

12.【環境影響情報】

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし

※エタノール100%の場合

水生生物環境有害性 短期(急性) 区分に該当しない

水生生物環境有害性 長期(慢性)

区分に該当しない

13.【廃棄上の注意】

残余廃棄物

関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄し、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。

14.【輸送上の注意】

陸上規制情報

非該当

海上規制情報

非該当

航空規制情報

非該当

15.【適用法令】

化学物質管理促進法(PRTR法)

第一種指定化学物質 管理番号:694(1.11%)

ナトリウム=アルケンスルホナート(アルケンの炭素数が14から16までのもの及びその混合物に限る。)及びナトリウム=ヒドロキシアルカンスルホナート(アルカンの炭素数が14から16までのもの及びその混合物に限る。)並びにこれらの混合物

労働安全衛生法

引火性の物(エタノール)

名称等を通知すべき有害物(エタノール)

船舶安全法

引火性液体類(エタノール)

航空法

引火性液体(エタノール)

医薬品医療機器等法

化粧品

16.【その他の情報】

記載内容の問い合わせ先

アルタン株式会社

住所

東京都大田区東糀谷3-11-10

担当部門

商品部

電話番号

03-3743-5705

FAX番号

03-3743-5706

改訂履歴

作成

2017年8月21日

改訂

2022年4月13日

改訂

2023年3月27日

改訂

2023年11月29日

最終改訂

2025年6月30日

注意

- ・ この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
- ・ 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
- ・ 注意事項は通常の見取りを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合には、新たな用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
- ・ すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。
- ・ ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。